

## 活動報告：ぶんぶんひろば

### 1 【ぶんぶんひろば】について

子どもと子ども、親と親、子どもと親が自然に関わることで、楽しいスペースを提供する。指導等は行わず、人と人のつながりの中で、自分で考え、のびのびできる空間を目指し、オープンスペースを実施する。子育てに役立つ情報を用意し、地域貢献の場とする。

学生が学園内で親子の姿を見ることにより、子どもの発達や子育ての状況を学習することができ、その支援の方法を考察する機会を得る。実際に手助けを体験する。

#### (1) ねらい

授業の中に、センターでの実習を取り入れ、座学で学んだ内容を深める。センターのハード面、ソフト面、実際の親子との交流など、多くのことを体験しながら学習し、学習の効果をあげる。

#### (2) 活動内容

ひろばスタッフ（保育士2人）が見守り、週2回のオープンスペース（火曜日・金曜日 10:30～15:00）を実施する。季節の折り紙、家でも製作可能な、発達に適した簡単おもちゃなどを展示し、情報を提供する。但し、研究センターなので協力を依頼することがあることや、託児ではなく、必ず親子で遊んでもらうことなどを明示し、本センターの主旨の徹底をはかるようにする。

#### (3) 学生とのかかわり

子育て支援や、心理学、保育等の関連科目では、実際に子どもの発達や子育て中の親子の姿を学習することにより、学習内容の理解を深めることができる。誓約書により学生の守秘義務を確認、誓約した後、センターでの実習を行う。

研究センターのハード面、ソフト面を学習し、

今後ますます必要となる、子育て支援の実例を体験する。

#### (4) カリキュラム

子育て支援のためのオープンスペースの実習として、授業に組み込んでいる。

### 2 令和3年度の活動について

週2回の定期的な「ぶんぶんひろば」は、コロナ禍で前年度に引き続き活動を休止していた。しかし、全国的に感染状況が落ち着いていたことを踏まえ、12月に一旦、感染対策をじゅうぶん講じた上で、午前・午後共に5組以下の予約制で活動を再開した。1月以降は、感染の再拡大により、休止した。表1に、令和3年度12月の利用者数をまとめた。

表1 令和3年度ぶんぶんひろば利用者数

	12/3	12/7	12/10	12/14	12/17	合計 (人)
0歳	0	2	0	3	2	8
1歳	3	2	0	3	1	11
2歳	0	0	1	3	4	8
3歳	0	1	0	1	1	3
4歳 以上	0	0	0	0	0	1
子ども	3	5	1	10	8	31
保護者	3	4	1	9	7	27
合計 (人)	6	9	2	19	15	58
組数 (組)	3	4	1	8	7	26

(文責：保育学科 末次 絵里子)